

平成26年5月25・26日

今年もお天気に恵まれ、新宿スバルビル前8時20分(予定より10分早く)に細越副理事長の見送りを受けて出発しました。理事長のご挨拶があって、東北自動車道を下野国分寺に向かって走っていきました。バスの中で歴史分科会の馬場さんより国分寺の歴史について説明がありました。天平の丘公園で写真撮影↓栃木県立しもつけ風土記の丘資料館に見学に入りました。



銭成石の由来

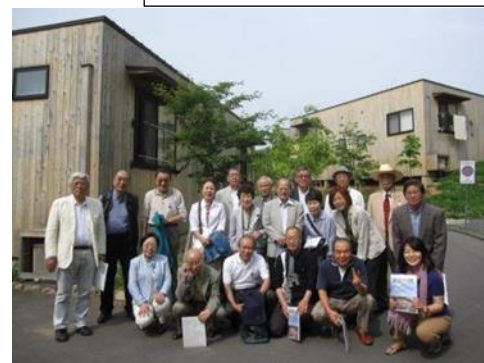
この塚の造成中、ここより南方50mのところから大量の小銭(渡来銭)が発見され内百枚がこの石の下におまつりしてあります。下の石畳からこの石に向かって手を打つと鳴き竜がします。よって銭成(鳴き)石と名づけました

今回の訪問先「ゆいまーる那須」は老人がいきいきと仲間の役に立ちながら(長屋暮らし)助け合って、住んでいる場所で終末を迎えられるコミュニティの新しい試みとして4年前にオープンした集合住宅(スタッフも見回りも分かち合い)です。福島の白川インターチェンジから……、100kmのスピードでも予定より30分も遅れてしまいました。

↓住居の前で記念撮影



←説明の
大場さん



←ご夫婦で入居されている廣瀬さんの友人(大宮洋治さん)の体験談

入居者と同じ昼食を頂いて、パンフレットに沿って歴史、入居者が住み易さを求めて話し合いを繰り返してきたこと、住む方の見守り、特技を生かして交換金券(昼食代他)の発行等、生きて行くための様々な知恵を拝見させていただきました。(百聞は一見にしかず!!)

このようなコミュニティの拠点福祉のまちづくりを実現させている(株)コミュニティネット代表取締役社長高橋英興さんから8時過ぎ宿到着が5時頃着けるようになりましたと連絡が入り、急遽次の見学(源三窟と逆さ杉)を飛ばして「明賀屋旅館」へ直行することにしました。旅館が奥まった中にあるので分かりづらく那須塩原温泉街をバスの中から見学するように出来ました。鹿股川のほとりに位置する旅館は木々の葉や、川の優しいせせらぎに包まれています。川岸露天風呂は300年の歴史を伝えます。



緑の中の露天風呂に入り講演を聞く準備を整えました。



宴会前の講演の様子・・・司会は柚木さん

宴会の隣の別室をお借りして講演会となりました。見てきたばかりのゆいまーる那須を中心に持続可能な街づくりの実現にむけて、自治体や企業、地元の住民、NPO などと連携し

ながら、地域創生事業、資金調達、人材の育成、自治体と市民のコーディネートをするなど高橋社長自ら現場で寝起きして、やってこられた実体験を熱くお話し下さいました。続きは6月例会(6/17)にて入船・柚木さん司会です。

宴会では高橋社長との意見交換有、名刺交換有、記念撮影有で予定の時間8時で、翌日中国にご出張の社長をお見送りいたしました。

9時から合宿恒例の勉強会で講演の内容について意見交換しました。(6/17 続く)

講演者と記念撮影→



←翌朝も程よい天候に恵まれ出発前の全員揃ったところで記念撮影(明賀屋前)しました。

栃木方面の旅行となった最大の目的は救缶鳥プロジェクトの(株)パン・アキモトの工場見学です。阪神淡路大震災に美味しいパンを食べてもらおうの苦労談からパンを長期間美味しく保存する缶詰に至ったそうです。工場の中は衛生管理の行き届いたどこにでもあるパン工場という感じですが、缶詰パンを作ることが他と

は違っていました。

←秋元社長の説明



←裏の工場見学に行く一行入室前にキャップとマスク→

見学後に缶詰パンを沢山買ってそれぞれのお土産になりました。自宅用のパンやキャンデーも

美味しかったです。昼食は←那須の南ヶ丘牧場でバーベキューでした。早めに着いたので食事の時間まで1時間タプリーありましたので、グループで体操をする者、牧場内を散歩する者思い思いの時間を過ごしました。参加者が20人でしたので5テーブルに分れてお肉、野菜を焼きながらビールを美味しくいただきました。帰りは新しく模様替えした羽生サービスエリアで最後の休憩。一路、東京へ無事に新宿着。解散しました。

(写真&文宮崎知子)

